

授業科目	*小児看護学概論				単位	1		
履修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU21301J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2			
担当教員	樋口 由貴子							
授業概要	<p>【実務家教員担当科目】</p> <p>小児看護の基盤となる子どもの成長・発達の特徴、および、小児看護の歴史や理念、倫理および子どもの権利を意識し擁護する看護のあり方について解説し、看護実践を進める上での課題を考える。これらを実務家教員として臨床現場での経験を生かした事例を組み込みながら解説する。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1.小児看護の歴史や理念、倫理について説明できる。</p> <p>2.子どもの成長発達の一般原則を説明できる。</p> <p>3.各発達段階(乳幼児期、学童思春期)での身体的特徴と心理・社会的変化を説明できる。</p> <p>4.成長発達の評価方法を説明できる。</p> <p>5.各発達段階での特徴と子どもの健康生活のあり方を説明できる。</p> <p>6.子どもの権利について理解し、権利擁護と看護について説明できる。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	30	10	0	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	15		10				25	
知識・理解 (DP1-2)	45	30					75	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
目標 1～6 の内容を、総合的に理解し、内容について適切に説明できる。				目標 1～6 の内容を理解し、概要を説明できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法	学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)	

1	テーマ:子どもの看護について 子どもの看護に関する歴史、理念、倫理について解説する。	教科書・PP・視聴覚教材を用いた講義	予習:授業内容についての配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく 復習:本日の授業内容を振り返る	20
2	テーマ:小児の成長発達について 発達の概念、およびライフサイクルの視点から小児各期の特性の概略を解説する。	教科書・PP・視聴覚教材を用いた講義	予習:授業内容についての配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく 復習:本日の授業内容を振り返る	30
3	テーマ:成長発達の評価 成長発達に用いられる評価方法について解説する。	教科書・PP・視聴覚教材等を用いた講義	予習:授業内容についての配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく 復習:本日の授業内容を振り返る	30
4	テーマ:各発達段階の特徴と健康生活 1 乳児期の成長発達と健康生活について解説する。	教科書・PP・視聴覚教材等を用いた講義	予習:授業内容についての配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく 復習:本日の授業内容を振り返る	30
5	テーマ:各発達段階の特徴と健康生活 2 幼児期の成長発達と健康生活について解説する。	教科書・PP・視聴覚教材等を用いた講義	予習:授業内容についての配付資料、テキスト、参考資料に目を通しておく 復習:本日の授業内容を振り返る	30
6	テーマ:各発達段階の特徴と健康生活 3 乳幼児期の成長発達と健康生活について解説する。	教科書・PP・視聴覚教材等を用いた講義	予習:授業内容についてテキストに目を通しておく 復習:本日の授業内容を振り返る	30
7	テーマ:各発達段階の特徴と健康生活 4 学童・思春期の成長発達と健康生活について解説する。	教科書・PP・視聴覚教材等を用いた講義	予習:授業内容についてテキストに目を通しておく 復習:本日の授業内容を振り返る	30
8	テーマ:子どもの権利と看護の役割 子どもの権利とそれを擁護する看護の役割についても解説し、課題を考える。	教科書・PP・視聴覚教材等を用いた講義	復習:本日の授業内容を振り返る	30
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				

16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	子どもの身体・心理・社会面での理解を進めるために、1年次及び2年前期に学習する看護形態機能学の基礎知識や心理学・発達心理学、看護倫理等の知識を応用していきます。			
テキスト	中野綾美編:ナーシング・グラフィカ 小児看護学 1 小児の発達と看護、メディカ出版、2021			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筒井真優美監修:小児看護学 第8版、日総研、2019</li> <li>・奈良間美保他:小児看護学 1 小児看護学概論、医学書院、2018</li> <li>・二宮啓子、今野美紀編:小児看護学概論 子どもと家族に寄り添う援助 改訂第4版、南江堂、2022</li> </ul> この他、追加文献については授業中に提示します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	日頃子どもと接することの少ない皆さんにとっては、教科書だけでは理解しにくい子どもの姿があると思います。授業と平行して、メディアや町中などでも子どもに関心を持って観察をして下さい。 この授業は、「地域連携協働支援論」と交互に隔週で行います。スケジュールを間違えないよう注意をしてください。			
達成度評価に関するコメント	テキストや提示資料、授業中に視聴したDVD等を通して学習された基本的知識について評価をします。			

